

経産 7:56

平成22年3月12日 05:45

原子力発電所状況一覧

原子力発電所	地震前運転状況	地震後運転状況 【止める】	【冷やす】	対応状況 【閉じこめる】	【電源】	事務所連絡
六力所 泊1, 2, 3号機 東通	操業中	非常用DG起動			非常用DG起動	
	運転中	運転継続中		放射線モニター異常なし	外電喪失→受電開始 非常用DG	連絡可
	定検停止中	定期検査中	冷却可		外電なし	連絡可
	運転中	スクラム	RCIC注入中	放射線モニター異常なし	非常用DG起動	連絡可
	定検起動中	スクラム	RCIC注入中		外電あり	
	運転中	スクラム	RCIC注入中		外電あり	
福島第一	運転中	スクラム	非常用種水器冷却中	放射線モニター異常なし 常上昇	15:42 非常用DGトリップ	連絡可
	運転中	スクラム	RCIC停止→運転を確認	放射線モニターによる O1号炉格納箱容器圧力異常	15:42 非常用DGトリップ	
	運転中	スクラム	RCIC注水中	Oモニターカーによる 測定結果: 0.07 μSV/h →(mpg 付近) 0.59 μSV/h →(mpg 付近) 1.4 μSV/h	非常用DGトリップ	
	定検停止中	スクラム			使用不可	
	定検停止中	スクラム			DGトリップ	
	定検停止中	スクラム			DG起動	
福島第二	運転中	スクラム	RCICにより注入中	放射線モニター異常なし	DG起動できない 外部電源あり	連絡可
	運転中	スクラム	RCICにより注入中			
	運転中	スクラム	水位十分確保注入中			
	運転中	スクラム	HPCSで注入中			
柏崎刈羽	運転中	運転中		放射線モニター異常なし		
	定検停止中	定検停止中				
	定検停止中	定検停止中				
	定検停止中	定検停止中				
	運転中	運転中				
	運転中	運転中				
	運転中	運転中				
東海第二	運転中	スクラム	RCICにより注入中 HPCS自動起動	放射線モニター異常なし	外部電源喪失 非常用DG 起動中	連絡可
	定検停止中	定検停止中				
浜岡	運転中	運転中				
	運転中	運転中				
	運転中	運転中				
その他	MNF					

【主なクロノジー】

- 15:42 1F 1から5号で全交流電源喪失 10条通報
- 16:45 1F 1号及び2号で事業者から15条と判断した旨通報
- 18:38 17:35 2F1号 事業者が10条と判断した連絡
- 19:00 18:33 2F1, 2, 4号 事業者が10条と判断した連絡
- 2F1号(5:22), 2号(5:32), 4号(06:07) 事業者が15条と判断した旨報告あり

...警戒本部設置

左

経過 8:0 |

住民避難の状況

(3月12日 7:50 OFC住民安全班からの連絡)

ERC住民安全班

住民は、

大熊町 都路中学校

双葉町 川俣小学校

富岡町 川内村役場

浪江町 津島活性化センター 及び 津島支所

へ移動中。まだ、避難は完了していない。

(上記、避難所が一杯になれば、別の避難所に避難させることになる。)

	10km圏内の住人数
富岡町	14,808
大熊町	11,363
双葉町	7,243
浪江町	17,793
計	51,207

福島第一原子力発電所1号機の原子炉格納容器内の
圧力を低下させる措置の実施について
(放射性物質を含む空気の一部外部への放出について)

左(F)

平成 23 年 3 月 12 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

平成 23 年 3 月 11 日、当社福島第一原子力発電所 1 号機 (沸騰水型、定格出力 46 万キロワット)、2 号機および 3 号機 (沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット) は定格出力一定運転中のところ、同日午後 2 時 46 分頃に東北地方太平洋沖地震により、タービンおよび原子炉が自動停止しました。
(お知らせ済み)

現時点において、1 号機の原子炉格納容器内の圧力が上昇していることから、国の指示により、安全に万全を期すため、1 号機の原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置 (放射性物質を含む空気の一部外部への放出) を行うことといたしました。

プラントの復旧に向け、全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以上

(お問い合わせ先)

福島第一原子力発電所
広報部
TEL 0240-32-2101 (代表)

左

福島第一原子力発電所1号機の原子炉格納容器内の
圧力を低下させる措置の実施について
(放射性物質を含む空気の一部外部への放出について)

平成 23 年 3 月 12 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

平成 23 年 3 月 11 日、当社福島第一原子力発電所 1 号機 (沸騰水型、定格出力 46 万キロワット)、2 号機および 3 号機 (沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット) は定格出力一定運転中のところ、同日午後 2 時 46 分頃に東北地方太平洋沖地震により、タービンおよび原子炉が自動停止しました。
(お知らせ済み)

現時点において、1号機の原子炉格納容器内の圧力が上昇していることから、国の指示により、安全に万全を期すため、1号機の原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置 (放射性物質を含む空気の一部外部への放出) を行うことといたしました。

プラントの復旧に向け、全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以上

(お問い合わせ先)
福島第一原子力発電所
広報部
TEL 0240-32-2101 (代表)

9:00
開始予定

~~2012リリースは可能な限り早く行う。~~

経産 8:17 (2頁)

現地モニタリング情報

測定が確認できる範囲では、異常はない。

福島第1(1F)

県のモニタリングポストについては、データが確認できない
以下はモニタリングカーによるMP6付近の測定

モニタリングカー	21:00	-	22:50	-	0:30	-	1:50	3:30	4:23	5:10	
測定値(nGy/h)	60	-	59	-	60	-	66	68	0.59 (μ Sv/h)	1.59 (μ Sv/h)	
風向	北西	-	西	-	東北東	-	西南西	-			
風速(m/s)	0.4	-	0.7	-	0.9	-	0.8	-			

通常は0.07(μ Sv/h)程度

福島第2(2F)

県のモニタリングポストについては、データが確認できない
事業者のモニタリングポストデータは以下のとおり。

モニタリングポスト	21:00	23:00	23:30	1:10	-	-	-	-	-	-	7:00
MP1(nGy/h)	36	36	36	36	-	-	-	-	-	-	0.037(μ Sv/h)
MP2(nGy/h)	欠測	欠測	欠測	欠測	-	-	-	-	-	-	欠測
MP3(nGy/h)	37	36	37	37	-	-	-	-	-	-	0.037(μ Sv/h)
MP4(nGy/h)	38	38	37	37	-	-	-	-	-	-	0.038(μ Sv/h)
MP5(nGy/h)	43	43	43	42	-	-	-	-	-	-	0.042(μ Sv/h)
MP6(nGy/h)	35	35	34	35	-	-	-	-	-	-	0.036(μ Sv/h)
MP7(nGy/h)	欠測	欠測	欠測	欠測	-	-	-	-	-	-	欠測
風向	北西	北	西	北西	-	-	-	-	-	-	-
風速(m/s)	5.1	4.0	6.8	4.7	-	-	-	-	-	-	-

県モニタリングポスト

1F側13か所(1か所のみ確認できている。)

大野岡(nGy/h)	-	-	-	-	2:06	3:30	
風向	-	-	-	-	41	41	
風速(m/s)	-	-	-	-	-	1.1	

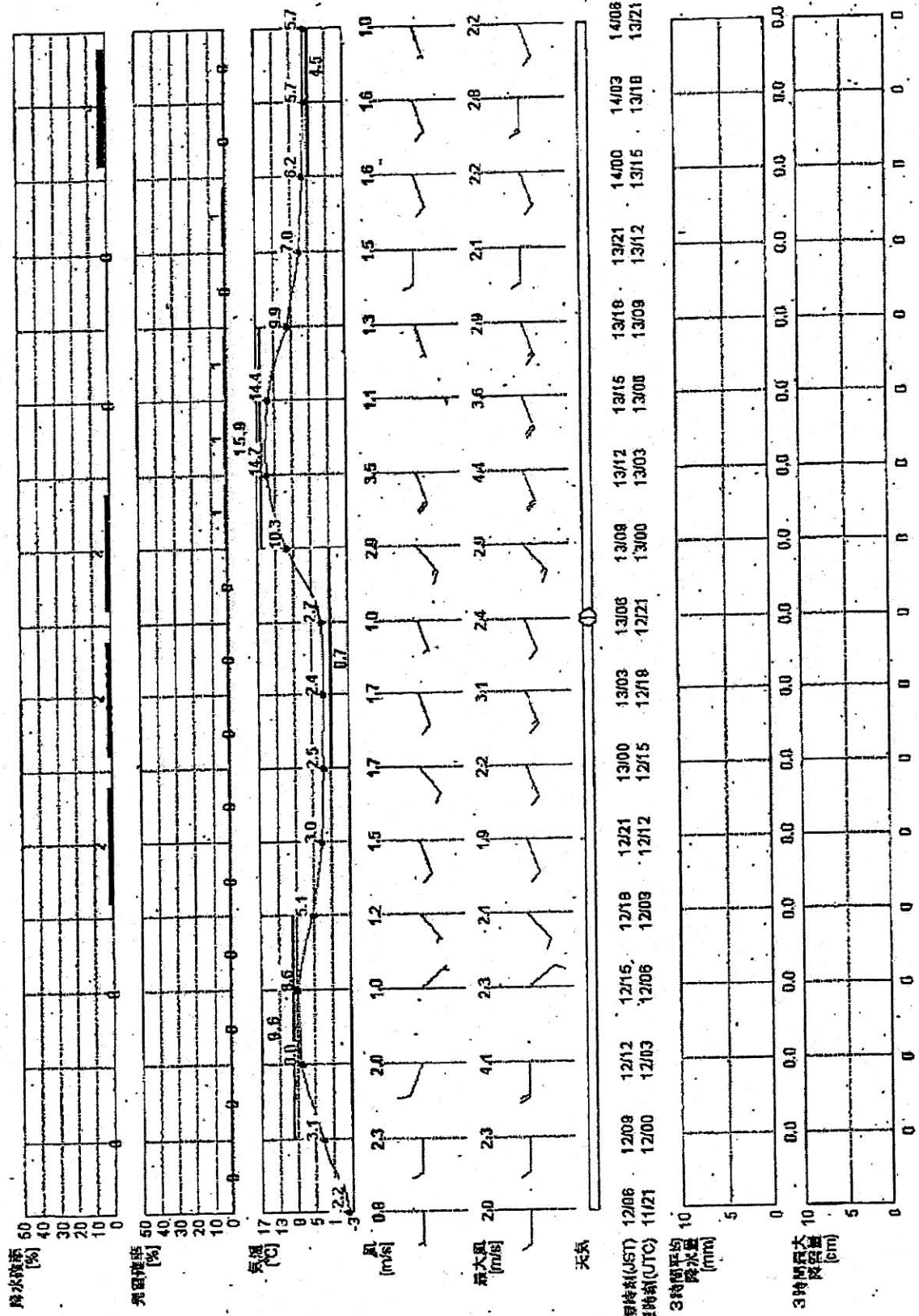
2F側10か所

現在、データの確認はできていない。

地点選択 INUT 時刻 03/13 21:00 UTC 表示 m/s 単位 更新

GSM衛星ガイダンス
 (初観時刻: 2011/03/12 08:00 JST)
 (初観時刻: 2011/03/11 18:00 UTC)

浪江 [36411] (37.492N140.965E) 47.0m



お知らせ

平成23年3月12日
東北電力株式会社
TEL 022-225-2111 (代表)

地震発生による原子力発電所の状況について (第3報 7:00現在)

昨日の地震発生に伴い停止した発電設備の状況についてお知らせいたします。
※下線の箇所が、新たにお知らせする内容です。

<女川原子力発電所>

女川原子力発電所(宮城県牡鹿郡女川町および石巻市)は、1号機および3号機が通常運転中、2号機が原子炉起動中のところ、地震の発生に伴い、平成23年3月11日14時46分、女川原子力発電所全号機において、原子炉が自動停止しました。観測した加速度は、567.5ガルです。

これは、地震発生の際の安全確保策として設計どおり停止したものであり、排気筒モニタ、モニタリングポストに変化はなく、この自動停止による環境への放射能の影響はありません。

現在、現場をパトロール中です。

【1号機の状況】

- ・地震の揺れにより、燃料プールから床面に水が溢れたことを確認しております。
- ・屋外重油タンクが傾いたため、油漏れの恐れがあります。
- ・起動変圧器の故障に伴い、外部からの電源供給が停止しましたが、非常用ディーゼル発電機が自動起動し、電源供給をしております。
- ・タービン建屋地下1階において3月11日16時30分、発煙を発見したことから、消火活動を行い、3月11日22時55分に消火を確認しました。原因は、高圧電源盤からの発煙であることを確認しました。
- ・原子炉建屋地下2階の炉心スプレイポンプ(A)室で、0.5リットルの水漏れを確認しました。放射能量は 6.2×10^2 ベクレルです。(法令報告レベルは、 3.7×10^3 ベクレル)
- ・タービン建屋地下2階のヒーター drenポンプ室、復水回収タンク室、復水ポンプ室で水漏れを確認しました。漏えい量、放射能量は調査中です。
- ・3月12日0時58分、原子炉の温度は100℃未満の冷温停止状態となりました。

【2号機の状況】

- ・地震の揺れにより、燃料プールから床面に水が溢れたことを確認しております。
- ・原子炉建屋地下3階非管理区域にある補機冷却系の熱交換室に、海水が浸水し

ていることを確認しております。現在、排水を行っております。

【3号機の状況】

- ・地震の揺れにより、燃料プールから床面に水が溢れたことを確認しております。
- ・3月12日1時17分、原子炉の温度は100℃未満の冷温停止状態となりました。

・タービン建屋ブローアウトパネル*が外れていることを確認しました。

※：建屋内の圧力が上昇した時に押し出され、建屋内の圧力を減圧するためのパネル。

<東通原子力発電所>

【1号機の状況】

- ・むつ幹線および東北白糠線の停止に伴い、外部からの電源供給が停止しましたが、非常用ディーゼル発電機が自動起動し、電源供給をしております。観測した加速度は、17ガルです（第1報で180ガルとお知らせしましたが、停電による誤動作のため、他の地震計による計測結果から算定しました）。
- ・本事象に伴い、3月11日14時48分、保安規定第58条に定める運転上の制限を満足していないと判断いたしました。同日23時59分に東北白糠線が復旧したことから、保安規定第58条に定める運転上の制限内に復帰しております。
- ・非管理区域である海水熱交換機建屋地下3階において、海水約140リットルが漏えいしていることを確認しました。現在、漏えいは止まっております。
- ・8台あるモニタリングポストのうち4台がバッテリー切れにより停止しております。なお、残りの4台は非常用電源に接続しており、測定を継続しております。
- ・排気筒モニタ、モニタリングポストの値に変化はなく、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

<参考>当社原子力発電所状況

女川原子力発電所

- 1号機：通常運転中のところ、原子炉自動停止
- 2号機：定期検査中（原子炉起動中）のところ、原子炉自動停止
- 3号機：通常運転中のところ、原子炉自動停止

東通原子力発電所

- 1号機：定期検査中のため停止中

以 上

左

クロノロジー

<3月11日>

- 14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置
- 14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)
- ① 女川 (震度6強) 1, 2, 3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なし dg 起動中)
- ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
- ③ 1F1, 2, 3 (6強) スクラム停止 4, 5, 6 定検停止中 (MP異常なし ECCS起動なし)
- ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
- ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
- ⑥ KK (震度4) 1, 5, 7 運転継続中 2, 3, 4 定検停止中
- ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用dgで電力供給中
- ⑧ 泊 (震度3) 1, 2, 3 継続運転中
- ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4, 5 継続運転中 プールの溢水なし
- ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし
- 14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡
- 15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)
- 15:16 モバイル保安院 発出
- 女川津波 10m (敷地高15m)
- 15:15 プレス会見 (中村審議官)
- 16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室
- 15:42 1F (1, 2, 3) DGトリップ (10条事象) 注: 事務所情報
- 18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) → 搭乗について検討
- 依頼
- 15:50 事業者より1F, 2FのDG不調との連絡あり
- 15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4, 5は定検停止中)
- 15:42 警戒本部設置 (現地警戒本部も同時立ち上げ)
- 16:02 福島OFC停電 DG立ち上がらず ERSSも伝送できず
- 16:04 2F 外部電源OK
- 16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)
- 16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)
- 16:13 2F 1, 2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPSCS 2で注入中
- 16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡

- 16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)
- 16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)
- 16:45 事業者より1F-1, 2について15条通報あり (事象発生判断 16:36)
- 17:30 現地派遣組 霞が関出発
- 17:05 産業保安 政府調査団出発 (17:54 市谷集合)
- 17:30 保安院は15条事態と判断 上申プロセスに入った
- 17:40 1F 4 重油タンク脇火災発生
- 17:45 プレス第3報 発出
- 18:15 ERC内会議 (事象進展について)
- 18:22 海江田大臣→総理大臣上申 結論に至らず (もう少し情報収集して判断すること) 従って対策本部開始も未定
- 18:25 自衛隊機1F電源車到着 (到着時間は不明) 電源車 1号機メタクラに接続作業中 (最低1時間かかるとのこと) (計6台要請中)
- 18:30 全閣僚を対象と閣僚会議開催 (官邸4階大会議室)
- 18:38 17:35に2F-1 10条判断との情報あり
- 18:33 2F-1, 2, 4 10条通報 (原子炉除熱機能喪失)
- 18:48 17:15 女川1号機タービン建屋地下1階発煙→自衛消防CO2で消火
- 18:50 電源車もう1台が到着予定
- 19:13 プレス会見
- 19:30 ERC内にて情報共有会議
- 20:15 プレス会見 (第5報)
- (負傷者情報 被ばく者なし 負傷者 (JAEA再処理 1名けが、赤チン程度 その他日本原燃、NFL、GNF、東海第二、浜岡 けが人なし)
- 19:03~22 官邸で対策会議開催
- 19:03 緊急事態宣言発出 (政府対策本部、現地対策本部設置)
- 19:20 電源車手配状況 水戸みがわ中 高圧1台、低圧1台 大宮駐屯地 低圧3台 (ヘリでは無理。水戸にあるものを陸送、パトカーに先導依頼予定←20:30 情報)、ゆう柿 明和記念公園 高圧2台 低圧4台 (待機状況確認中)
- 19:46 官房長官会見
- 19:50 電源車はまだ未到着との連絡が事業者からあり
- 20:30 副大臣ほか 市谷到着
- 20:35 「1F-2 RCIC停止 → 東電が住民避難検討開始」の連絡受け
- 20:50 福島県が発電所半径2kmの住民に避難指示との情報あり
- 20:55 池田副大臣 防衛省 (市谷) 出発 21:50 大滝根分屯基地 (福島県双葉郡) に到着予定、陸路にて1Fに向かう (直線距離で20km) 予定

21:03 現地にヘリ発 (池田副大臣、黒木審議官、山本課長、石垣室長、寺本秘書官、金子、海老根)

21:05 東北電力の電源車が福島 OFC に到着→発電所を優先させるよう指示

21:09 東北電力から2台めの電源車到着 (あと2台東北から向かっている)

21:16 県より連絡 (避難対象 1864名)

21:20 ERC 打合せ (プラント情報説明)

21:20 福島 OFC バッテリー切れ 隣接の福島県原子力センターに移動

21:25 福島県立医科大学付属病院に被ばく患者が発生した場合の受け入れを要請

21:27 官邸より連絡 (総理による避難命令 周辺 3km で避難 (10km 屋内退避) 指示文作成すること)

21:30頃 放射線医学総合研究所被ばく患者受け入れ体制整備済み

21:41 安全委員会とのTV会議終了

21:45 医療班状況報告 (変更分のみ; 1F社員 2名 (軽傷) 協力会社 2名 (病院搬送中))

21:47 プレス (21:30時点情報)
病院に被ばく患者が発生した場合の受け入れを要請

21:50 高圧1台到着もケーブルで接続中

21:53 官房長官会見

21:54 1F-2 水位計復帰し、水位がL2であることを確認

22:00 電源車2台発電所到着

22:12 福島県原子力センターの現状 (FAX1本、パソコンなし、SPEEDI 伝送無理、現地到着メンバーは東電8、大熊町1、保安院1f2、2f4名)

22:14 福島県庁 災害対策本部に確認したところ、避難の状況について詳しい情報は把握できていないが大きな混乱が生じているとの情報は入っていないとのこと。

22:30 副大臣 大滝根分屯基地に到着

22:50 川崎火力のバッテリー自衛隊に輸送依頼 (東電) →断念 広野火力分を輸送中

23:03 福島県内堀副知事 原子力センターに到着

23:17 プレス第7報

23:35 機能班責任者会議 (ERC 内) →23:50 終了

23:30 電源車3台発電所到着

23:30 低圧ケーブルを土浦から自衛隊輸送中

23:40 2Fで負傷者 (意識なし、脈なし) →死亡確認 (1名) 積み荷にあたり怪我

23:55 大熊町 3km 圏内住民避難完了。

<3月12日>

00:00 池田副大臣 現地到着

00:07 双葉町 避難継続中 (2km→3kmとなったのでやや遅れている)
00:08 大熊町、双葉町 安定ヨウ素剤準備完了
00:15 官房長官会見 (予定)
00:25 1F-1ドライウエル圧 (設計400→今600)
00:30 現在 電源車4台発電所到着 (4台発電所近傍まで到達)
00:32 1F 低圧ケーブル構内で発見 接続作業に入る
00:35 電源車情報 (全部で高圧50台、低圧20台が向かっている)
00:30 池田副大臣 → 大臣へ電話
00:40 危機管理監 危機管理チームは休憩に入るとのこと (5:30 開始)
00:50 プレス第8報
00:58 女川1号機 冷温停止状態に入った
01:00 予定 文科省からヘリで6名派遣
02:18 プレス会見 (第9報)
08:30 政府調査団第2段出発予定 (内藤審議官、上田、榎本)
01:00 1F2 ケーブル接続作業 津波で作業できず 26:00 作業開始の見込み (作業に4時間かかる予定)
01:17 女川3号機 冷温停止状態に入った
03:00 1F1 ベント予定 ← 東電が発表する予定
01:30 官邸より上記につき総理および大臣の了解 (東電および斑目委員長より説明)
01:42 安全委員会と会議 (1F1 格納容器ベントをすることは同意。それにあたり、避難区域を見直さないことについても了解。若年層の安定ヨウ素剤の投与→投与する段階には至っていない。投与する段階に至ったとしても、服用より遠方への避難を優先するべし。)
03:00 METIで会見予定 (東電小森常務、大臣、院長)
03:05 官房長官会見
01:20 1F2 ケーブル接続作業開始
02:30 広野火力のバッテリー1Fに到着
03:02 1F2 RCICは動いていることを現場で確認した
03:05 METI 会見開始
03:17 現地本部 福島OFCに移動予定 (電源復活)
03:59 柏崎地域で地震発生
04:03 KK1, 5, 6, 7 運転継続 MP異常なし (震度5弱)
06:00 官邸発 総理大臣現地視察予定 (7:00~8:00 1F)
04:18 モニタ状況 0.18→0.60mSv/h
08:30 原子力・地震合同対策会議開催予定 (資料提出する場合は70部持参)
05:00 プレス第10報

05:08 事業者から被ばく者発生の連絡あり
05:15 総理起床→ 次長レク 予定
05:22 2F-1, 2で15条通報
05:25 電源状況について(1F内 高圧電源車2台 2号機接続作業中、その他高圧6台、低圧3台が1F内にいることは確認されている(接続の状況は不明)。広野火力発電所から50個のバッテリーを搬入済み。1号機に接続しようとしている。また、川崎火力からバッテリーを搬入する予定。)
5:32 2F1, 2号機 事業者が15条事象と判断(圧力抑制機能喪失)
5:44 総理判断で避難半径10kmの指示
6:00 福島県プレス発表予定(モニタ値)
6:07 2F4 15条通報 事業者より
6:13 首相ぶら下がりて1Fの10kmに拡大と発言 官邸リエゾンより連絡
~~6:30 官房長官会見予定 プレス発表予定 とりやめ~~
6:43 官房副長官より 緊急被爆医療をすすめよとの指示
6:50 福1 大臣は口頭で指示、吉田所長に連絡 手動のベントを解放 号機の具体的指示がなかった。再度大臣に確認することとした。 とりあえず、まず急ぐのは1号機と吉田所長は判断した。
7:15 大臣は福1 1, 2両方と指示をした。ただし、1のほうを優先すると理解している。
7:00 福1 首相到着予定 7:25到着
7:22 大臣から総理に電話する。現地に着き次第。田口さんから連絡
7:25 首相 福1 現地到着
7:30 記者会見 11報
7:38 バスに総理と同乗している副大臣には、資料が全て渡してある。
7:40 福島第2にも避難の準備をしると、大臣の指示、避難するかどうかは大臣と総理が相談するとのこと。
7:45 黒木審議官から総理の決裁がとれた。との連絡を受けた。
7:45 総理の決裁時間。同時に、15条及び福2の3km避難、10km屋内退避指示、号機は書いていない。
7:45 福1の半径10km、高さ10kmを飛行自粛、国土交通省から連絡
8:15 福2 3km、10km
15:00 次のチーム集合の予定とした。
8:16 福島行き9:20出発(約1時間で到着)、岩手行き8:50出発(約2時間で到着)との連絡
8:30 原子力地震対策会議開催予定。
8:30 官房広報室で東京電力がプレス会見

8:18 9:00に1福1 手動ベント作業開始、東京電力より連絡。
8:53 ベント解放の時間、福島県と東京電力調整中、住民避難が完了していないため
9:10 東電プレス 本店で巻いている
9:16 9:04に福1 1号機ベント作業開始との連絡あり。
9:30 福1 1号機 弁2つのうち1つあいたとの連絡あり。
9:45 保安院プレス会見予定 12報

左

平成23年3月12日
経済産業省
原子力安全・保安院

地震被害情報 (第12報)
(3月12日午前9時30分現在)

原子力安全・保安院が現時点で把握している東北電力(株)東通原子力発電所、女川原子力発電所、東京電力(株)東通原子力発電所、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、電気、ガス、熱供給、コンビナート被害の状況は、以下のとおりです。

【三陸沖で発生した地震】

1. 災害概要

- (1) 発生日時：平成23年3月11日(金) 14:46発生
(2) 発生場所：震源三陸沖(北緯38度、東経142.9度)
深さ10km、マグニチュード8.8

(3) 各地の震度

○震度4以上の地域

- 震度7 宮城県北部
震度6強 茨城県北部、茨城県南部
震度5強 青森県三八上北
震度5弱 新潟県中越
震度4

○震度4以上の市町村

- 震度6強 福島県楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町
震度6弱 宮城県石巻市、女川町(発電所の震度計による)、東海村
震度5弱 新潟県刈羽村
震度4 青森県六ヶ所村、東通村、新潟県柏崎市、神奈川県横須賀市
震度1 北海道泊村